

お客様とのかかわり

情報公開

企業活動の情報提供に取り組んでいます

●大阪市大正区防災講演会で震災体験を講演

2010年3月5日、アゼリア大正ホールにおいて、春の火災予防運動のメイン行事として防災講演会が開催され、高圧化学の鴨部秀明が大正消防署からの依頼で講師として自身の震災体験を約200人の大正区民および企業の方々に講演しました。北海道出身の鴨部は1993年1月、マグニチュード7.5を記録した釧路沖地震を実際に体験し、巨大地震の被害状況、その時自身が取った行動や反省点、また経験に基づく地震対策などの話を紹介しました。



震災体験について話す鴨部

●大阪工研協会 工業技術賞受賞

2009年5月21日、大阪工研協会主催による第59回工業技術賞の授与式が行われ、研究所の藤井裕二と谷本晋一郎が「水系防食塗料用変性エポキシ樹脂」で受賞しました。

近年、揮発性有機化合物(VOC)規制が厳しくなる中、塗料業界で水系化が進みつつあり、荒川化学は環境対応型の水系樹脂商品として、独自の樹脂設計により高塗膜硬度・高防錆性のレベルアップを達成し、ユーザーから高い評価をいただきました。



工業技術賞授与式に出席した藤井と谷本

●中国 南京林業大学で講演

2010年3月17日、製紙薬品事業部国際部の平野靖彦が、南京林業大学において「荒川化学工業の内添サイズ剤と内添PAM系紙力剤の開発経緯と評価・使用事例について」と題した講演会を行いました。

南京林業大学は江蘇省製紙関連ではナンバー1の大学で、卒業生のほとんどが製紙関連業界に就職しており、南通荒川化学でも当大学卒業生の3名が営業部で活躍しています。

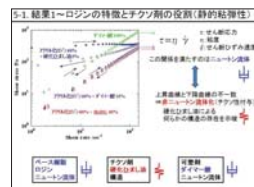


南京林業大学で学生に向け講演

●マイクロ接合・実装技術シンポジウムで研究奨励賞を受賞

2010年2月2日～3日に横浜で開催された第16回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウムにおいて、研究所の長坂進介が「鉛フリーハンダペーストおよびフラックスの粘弾性特性」と題する論文を発表し、「研究奨励賞」を受賞しました。

本論文では、はんだペーストに用いられるロジンの有用性を明確にするとともに、印刷現象を機械要素により理論的に解析するモデルを新たに提案しました。



シンポジウムでの発表資料

●電気機能材料工業会の貢献賞を受賞

2009年12月2日、電気機能材料工業会主催の「Insulation2009技術セミナー」において、ペルノックスの山田弘二が「標準化活動など工業会委員会活動を通じて、工業会ならびに業界の発展に著しく寄与した者」として貢献賞にて表彰されました。これは、電気絶縁用粉体塗料試験方法(JIS C 2161)の10年ぶりの改正原案を作成したことによるものです。

Voice



ペルノックス
山田 弘二

2008年に行った見直しでJIS C 2161の大幅改訂の必要性が発生し、私を含め4人で改訂作業を行いました。厳しいスケジュールの中、最初にJISを作成した先輩達は定年などで連絡がつかず、なかなか前に進まなかったのですが、皆でひとつのことに集中し、審議することで打開策を見つけることができました。この経験を、仕事に役立てたいと思っています。



工業会から表彰される山田